

# 本巢市商工会経営発達支援事業＜地域の経済動向調査＞No. 5

## ① 業界別の7月の景況感

※出典：(株)帝国データバンク 産業調査部「TDB景気動向調査(全国) -2018年7月調査-」

### 【総 評】国内景気は4カ月ぶりに改善、猛暑や夏季賞与が消費を刺激

全10業界中『小売』『運輸・倉庫』など8業界が改善し、2業界が悪化しました。連日の猛暑が季節商品へプラスに働いた一方、野菜の出荷量減少にともなう価格上昇で食品関連が悪化するなど、猛烈な暑さがプラス・マイナス両面の影響を及ぼしています。また、夏季賞与の支給額増加を追い風に耐久財関連が改善しました。他方、平成30年7月豪雨の影響で企業活動の停滞がみられ、特に中国地域において悪影響を及ぼしました。

### 【建 設】猛暑による冷暖房設備工事や消費税率引上げを見据えた駆け込み需要が好影響

建設業界は、首都圏を中心に東京五輪や再開発向け工事が活発化しているほか、幅広い業種で設備投資が堅調に推移していることも寄与し、3カ月連続で改善しております。7月においては、エアコン需要の急拡大を受けた冷暖房設備工事が追い風となった内装工事が改善しました。加え、民間工事で消費税率引き上げを見据えた駆け込み需要が動き出しているとの声が聞かれております。また、豪雨災害は被災地で工事の中断などを招いた一方、災害への対応工事が一部で発生しました。

### 【小 売】連日の猛暑や夏季賞与が消費を刺激

小売業界は4カ月ぶりの改善となりました。好調な企業業績や非正規の正社員化・処遇改善を背景として夏季賞与の総支給額が増加したことで、耐久財の消費が拡大しました。その内訳をみると、特に「家電・情報機器小売」と「繊維・繊維製品・服飾品小売」が大きく改善しており、連日の猛暑によるエアコン需要や夏物需要の拡大が影響したと考えられます。他にも、インバウンド需要の好調がプラス材料となった「各種商品小売」も大きく改善しました。

### 【運輸・倉庫】夏物商材などの荷動きの活発化が好影響

運輸・倉庫業界も、小売業界と同じく4カ月ぶりの改善となりました。豪雨災害による被災地の物流網寸断や軽油価格の上昇などがマイナス要因となったものの、猛暑を受けて夏物商材などの荷動きが活発化したことが寄与し貨物自動車運送が大きく改善しました。また、夏の行楽シーズン到来やインバウンド需要に加え猛暑も追い風となった乗用旅客自動車運送などの景況感も改善しました。

### 【サービス】東京五輪や消費税率引上げに向けた広告需要・レジャー向け需要が拡大

○サービス業界も4カ月ぶりの改善となりました。内訳をみると、「広告関連」でサッカーW杯終了から東京五輪や消費税率引き上げに向けた動きが出てきています。また、梅雨明けが早く好天が続いた地域でレジャー向け需要が拡大したことも影響しております。8月も夏休みやお盆に向けて、レジャー向け需要が拡大することが予測されます。

＜裏面にも各種統計調査を掲載しております＞

## ② ハローワーク別有効求人倍率(パートタイマーを除く)の推移

※出典：岐阜労働局ホームページ

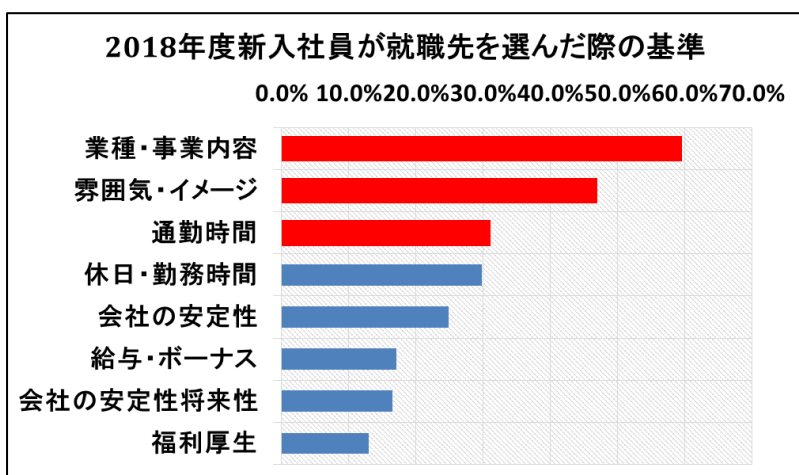
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
岐阜	2.29	2.25	2.15	2.08	1.96	2.14
大垣	1.63	1.61	1.57	1.55	1.52	1.54
揖斐	1.22	1.23	1.28	1.24	1.11	1.12
多治見	1.91	1.85	1.75	1.57	1.72	1.86
高山	1.14	1.15	1.26	1.33	1.42	1.55
恵那	1.57	1.62	1.43	1.33	1.40	1.60
関	1.88	1.95	1.82	1.70	1.72	1.72
岐阜八幡	1.52	1.64	1.59	1.31	1.42	1.51
美濃加茂	1.45	1.39	1.39	1.52	1.53	1.64
中津川	2.22	2.33	2.09	2.10	2.08	2.21
岐阜県	1.90	1.88	1.82	1.76	1.75	1.87

岐阜県全体の求人倍率は、2018年に入ってから低下傾向にあったものの、直近の6月では再度上昇しております。特に、岐阜地域については、県内の他地区と比較しても高い求人倍率を示しており、従業員の確保が困難な状況が続いております。

このような状況の中、大垣共立銀行が2018年度の新入社員に対して意識調査を実施しております。下記はその調査結果です。

## ③ 2018年度新入社員が就職先を選んだ際の基準

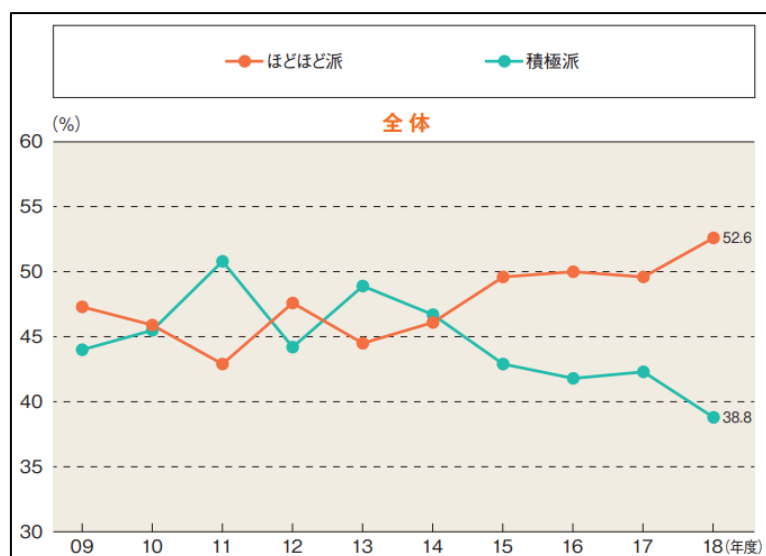
※出典：(株)OKB総研「2018年度 新入社員の意識調査」



OKB大垣共立銀行主催の新入社員研修会の受講者を対象に「就職先を決める際に重視した点(上位3つまで)」を訪ねた結果、1位が「業種・事業内容」、2位が「雰囲気・イメージ」、3位が「通勤時間」となりました。「給与・ボーナス」や「福利厚生」、「休日・勤務時間」などといった勤務条件は、低水準ながらも過去の調査と比較すると関心が高まっております。

## ④ 2018年度新入社員が望む上司・先輩との人間関係

※出典：(株)OKB総研「2018年度 新入社員の意識調査」



同じく、OKB大垣共立銀行主催の新入社員研修会の受講者を対象に「上司・先輩との人間関係はどのように考えているか(1つだけ選択)」を訪ねた結果、「義理を欠かない程度(ほぼほど派)」が96年の調査開始以来、初の半数以上となりました。一方、「公私にわたって積極的に(積極派)」は前年に比べて大きく低下しました。男女別にみると、特に女性は、「ほぼほど派」の傾向が強まっております。

その他、地域の経済動向調査統計情報を本巣市商工会ホームページにて公開しております。ぜひご活用ください。(本巣市商工会ホームページ <http://www.motosu.or.jp/>)